

日本情報考古学会

第31回大会

In KAGOSHIMA

日本情報考古学会第31回大会は、鹿児島国際大学を会場として、下記の要領で開催いたします。第31回大会のテーマは「土器研究の新視覚—多様な情報から過去を探る—」です。土器は、考古学において一般的な研究対象であり、そのため方法やアプローチのしかたを工夫することで、土器が持つ過去に関するより豊かな情報を引き出せると考えられます。そこで、上記のテーマを掲げ、多角的に検討する機会とすることいたしました。もちろん、土器研究に制限することなく、従来どおり情報考古学に関するものを含んだ幅広い内容となっております。また、今大会ではポスターセッションを試験的に設けることにいたしました。ふるってご参加いただき、大いに議論していただきたいと思います。また、会員外の方の参加も歓迎いたします。関心をお持ちの方にお知らせいたしますよう、併せてお願いいたします。

九州での大会開催はこれが初めてです。盛会となりますよう、皆様のご参加をお待ちしております。

大会テーマ

土器研究の新視覚

多様な情報から過去を探る

2013.9.28土 - 29日

会場：鹿児島国際大学 附属図書館 4F 視聴覚ホール（メイン会場）・ホワイト（ポスターセッション）

1日目 28日(土)

12:30 -	開場・受付
13:00 - 13:10	開会式
13:10 - 15:00	一般講演
15:00 - 16:00	特別講演 1
16:10 - 16:50	一般講演
18:30 -	懇親会

12:30 -	開場・受付
開会式	13:00 - 13:10 大会実行委員長 中国 聡
一般講演	13:10 - 14:10
研究発表 1	土器製作者と製作道具の関係—土器製作者に関する民族考古学的調査の検討から— 平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
研究発表 2	北部九州墓群における埋葬行為の復元—三次元コンピュータグラフィックスを用いて— 新屋敷久美子 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
研究発表 3	蛍光 X線分析と磁化特性による北海道の遺跡から出土した黒曜石の研究 菅頭明日香、酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)
一般講演	14:10 - 14:20
研究発表 4	型式論の標準化は可能か—馬具編年を例に 岡安光彦 (株式会社四門 文化財事業部)

研究発表 5	高感度超伝導磁力計の文化財分析への応用—銅鏡の磁場計測の試み— 河合 淳、河端美樹、足立善昭、上原 弦 (金沢工業大学先端電子技術応用研究所)
特別講演 1	15:00 - 16:00 須恵器産地推定の方法論 鹿児島国際大学各員教授 三辻利一 先生 —休憩— 16:00-16:10
一般講演	16:10 - 16:50
研究発表 6	中国東北地区遼西地域の新石器時代中期土器を素材とした土器編年 楊 帆 (鹿児島国際大学大学院)
研究発表 7	壁面からの地中レーザ探査による遺構の内部構造の研究 泉 吉紀 (富山大学大学院理工学研究部)、田上和彦 (高岡市教育委員会)、酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)
学会賞授賞式	16:50 - 17:00
懇親会	18:30 - ※当日受け付けます。ふるってご参加ください。

2日目 29日(日)

10:00 - 11:00	一般講演
11:00 - 12:00	特別講演 2
12:00 - 12:30	総会
12:30 - 13:00	休憩
13:00 - 13:40	ポスターセッション
13:40 - 15:00	一般講演
15:00 - 15:10	閉会式

一般講演	10:00 - 11:00
研究発表 8	土器スタイルにおける模倣と共有のメカニズム—土器製作場面でのミラーリング— 平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)、中国 聡 (鹿児島国際大学)
研究発表 9	土器形態における低視覚的属性の検討—製作者の態度に関する認知考古学的視点— 黒木梨絵 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
研究発表 10	焼土の磁化から探る焼失堅穴住居・土層下の落下状況の研究 酒井英男、菅頭明日香 (富山大学大学院理工学研究部)、小黒智久 (富山県教育委員会埋蔵文化財センター)
特別講演 2	11:00 - 12:00 土器研究における新しい視点 鹿児島国際大学教授 中国 聡 先生
総会	12:00 - 12:30

—休憩—	12:30-13:00
ポスターセッション解説	13:00 - 13:40
一般講演	13:40 - 15:00
研究発表 11	考古学データベースシステムにおける異種データベースの統一的な利用について 王 鑫、宝珍輝、野宮浩揮 (京都工芸繊維大学)
研究発表 12	Kinect を利用したウェアラブル形状計測システム SENS-Wiper の試作 池田 聖、吉元俊輔、岩井大輔、佐藤宏介 (大阪大学基礎工学研究科)、三船裕司 (かながわ考古学財団)
研究発表 13	弥生土器形態の空間的検討による様式把握とその有効性 太郎良真妃 (鹿児島国際大学大学院)
研究発表 14	北タイにおける土器製作者身体技法の記録と解析—モーションキャプチャを用いて— 川宿田好見 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
閉会式	15:00 - 15:10 会長 植木 武

ポスターセッション	13:00 - 13:40 附属図書館 4F ホワイト
研究発表 15	電磁気探査による夷王山墳墓群の研究 中村和之 (函館工業高等専門学校)、泉 吉紀 (富山大学大学院理工学研究部)、塚田直哉 (上ノ国町教育委員会)、酒井英男 (富山大学大学院理工学研究部)
研究発表 16	仏像の計量分析—平安後期・鎌倉期の造像様式の特徴比較— 上田晴奈 (同志社大学大学院文化情報学研究科)、村上征勝 (同志社大学文化情報学部)

研究発表 17	土器形態における製作者の個人内変異と個人間変異—北タイの伝統的土器製作から— 中国 聡 (鹿児島国際大学)、太郎良真妃、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)、川宿田好見 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)
研究発表 18	縄文土器胎土に地域差はあるか? 三辻利一 (鹿児島国際大学)、太郎良真妃、平川ひろみ、楊 帆 (鹿児島国際大学大学院)
研究発表 19	土器胎土における製作者の個人内変異と個人間変異—北タイの伝統的土器製作に関する蛍光 X線分析— 中国 聡 (鹿児島国際大学)、平川ひろみ、太郎良真妃 (鹿児島国際大学大学院)、川宿田好見 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

<お問い合わせ>

〒891-0197 鹿児島市坂之上 8-34-1
 鹿児島国際大学中国聡研究室内
 日本情報考古学会第31回大会実行委員会
 Tel: 099-261-3211(Ext. 5113) Fax: 099-261-3299(代表)
 日本情報考古学会 URL: <http://www.archaeo-info.org/>

